

様式第6号(第6条関係)

(表)

政務活動費収支報告書

2024年4月30日

明石市議会議長

尾倉 あき子

様

会派名 対話の会あかし

代表者名 中西 礼皇

経理責任者名

明石市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、下記のとおり 年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

(単位:円)

科目	決算額	摘要
政務活動費	880,002	受取利子2円を含む

2 支出

(単位:円)

科目	決算額	摘要
研究研修費	224,143	視察費、ガソリン代
資料作成費	11,030	コピー機利用料
資料購入費	147,499	書籍代、新聞代
広報広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
人件費	0	
通信運搬費	22,883 <del>=22,886</del>	電話代
備品費	186,860	パソコン代、デジタルカメラ代
消耗品費	74,116	文房具代
計	666,531 <del>666,532</del>	

3 収支差引額

213,411

~~213,400~~円



(裏)

#### 4 活動の成果

令和5年5月から令和6年3月において、議会での質問や討論等に必要な備品の購入  
や情報収集に政務活動費を活用しました。他市への視察を積極的に行い、明石市が直  
面している課題について先行して取り組んでいる自治体の成功・失敗事例を学び、明  
石市で活かすことができるように学びました。豊岡市では、前市長から大都市と同じ  
土俵で自治体間競争をするのではなく、ローカルの強みを際立たせることで地域の魅  
力を高めることを学んだ。また、地域おこし協力隊メンバーからは、移住可能性のあ  
る人へ自治体からオファーやスカウト、狙いを定めた情報発信を行うことで、その自  
治体で暮らすことを強く希望する人を引き寄せることができるとのことであった。

北九州市の全国市議会議長会フォーラムでは、片山善博氏から地方議会改革によって  
市民が議会を見る目に変化があったか？という問いかけがあった。議会改革の手段が  
目的化していないか再確認しながら取り組みを進めたい。

令和5年度政務活動費収支報告書訂正届

2024年(令和6年)7月2日

明石市議会議長

辰巳 浩司 様

会 派 名 対話の会あかし

代 表 者 名 中西 礼皇

令和6年4月30日付で提出した令和5年度収支報告書について、下記のとおり訂正します。

記

訂正する文書	訂正内容
収支報告書	2 支出表内 通信運搬費22,885円を22,883円に訂正 計666,533円を666,531円に訂正 3 収支差引額 213,469円を213,471円に訂正
年間支出書	通信運搬費22,885円を22,883円に訂正 合計666,533円を666,531円に訂正
11月支出書	通信運搬費1,967円を1,966円に訂正 合計56,162円を56,161円に訂正
11月明細書	通信運搬費1,967円を1,966円に訂正
12月支出書	通信運搬費1,956円を1,955円に訂正 合計27,659円を27,658円に訂正
12月明細書	通信運搬費1,956円を1,955円に訂正

以上